

(案)

ぐんま緑の県民基金
市町村提案型事業の評価
(H28年度開始事業・H30年度評価)



平成31年3月

ぐんま緑の県民税評価検証委員会

市町村提案型事業

「市町提案型事業」は平成26年度からスタートした「ぐんま緑の県民基金事業」の一つです。

5つの補助メニューにより、市町村や地域の皆様が行う森林整備などのボランティア活動を支援しています。

5つの補助メニュー

・ 荒廃した里山・平地林の整備

地域活動推進（地域住民やNPO・ボランティア団体が行う事業）

- 1) 整備：刈払い、伐倒、その他事務費などの経費に対する補助
- 2) 苗木購入：高木性苗木の購入に対する補助
- 3) 管理：刈払い、集積、積み込み、その他事務費などの経費に対する補助

市町村による地域支援

- 1) 困難地整備支援
住民等では整備が困難である箇所が対象
- 2) 刈払機、粉碎機の購入
市町村が保守管理し、本事業に取り組む住民等に貸与する

・ 貴重な自然環境の保護・保全

活動支援

県動植物レッドリストで野生絶滅及び絶滅危惧種、類に指定されている種が生息している地域の保護・保全活動に対する補助

付帯施設の整備

上記の活動に必要と認められる施設整備に対する補助

・ 森林環境教育・普及啓発

森林環境教育

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する普及啓発

森林の機能や重要性について普及啓発をはかる事業に対して補助します

・ 森林の公有林化

水源地域森林の公有林化

水源地域の森林を公有林化する市町村を支援します

平地林の公有林化

平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村を支援します

・ 独自提案事業

ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得た市町村が実施する事業に対し補助

市町村提案型事業の評価について

今年度は事業開始から3年目の箇所（平成28年度開始箇所）を第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」に評価していただきます。

評価因子として、2つの視点（実績アンケートと効果アンケート）から補助事業者と市町村にアンケートを行い、別冊「平成30年度評価箇所アンケート集約書」として取りまとめました。

アンケートについて

1. 実績アンケート

事業を実施した年度ごとに、補助事業者に対して行うアンケートで、事業が採択された計画どおりに実施されたかを尋ねています。

今回は、平成29年度に実施した箇所についてアンケートを実施しました（平成28年度は昨年実施済み）。

2. 効果アンケート（公共性と効果の可視化）

同一箇所の3年目に行うアンケートで、補助事業者と市町村に対して行いました。

公共性の判断のために事業の効果が地域に対して利益があったかを尋ね、効果の可視化により事業の波及効果があったかを尋ねています。

アンケートの集約方法について

アンケートは点数評価の（5段階評価と3段階評価）合計により、A判定、B判定、C判定に分類すると共に、自由に記載できるコメント部分を設け、判定因子としています。

コメントは別冊の「平成30年度評価箇所アンケート集約書」を御覧ください。

A判定：取組が特に優れており、模範となり得る

B判定：現状の取組が充分である

C判定：現状の取組には課題があり、改善が必要

アンケート結果による判定結果一覧表

事業名	箇所数	アンケート結果による判定					備考
		内訳	A	B	C	未回答	
荒廃した里山・平地林	64	箇所数	37	27	0		
		構成比%	58%	42%	0%	0%	
荒廃した里山・平地林 【刈払機・粉砕機の購入】	4	箇所数	3	1			
		構成比%	75%	25%	0%	0%	
貴重な自然環境の保護・保全	5	箇所数	2	3	0	0	
		構成比%	40%	60%	0%	0%	
森林環境教育・普及啓発	12	箇所数	9	2		1	
		構成比%	75%	17%	0%	8%	
森林の公有林化	0	箇所数	0	0	0	0	
		構成比%	-	-	-	-	
独自提案事業	2	箇所数	1	1			
		構成比%	50%	50%	0%	0%	
合 計	87	箇所数	52	34	0	1	
		構成比%	60%	39%	0%	1%	

コメントは、別冊の「平成30年度評価箇所アンケート集約書」を参照